

2022年
12月1日

学校統合
第3号



まちだの新たな
学校づくり
Machida New School Project 2040

まちだの教育

主な内容

- 2面 統合・建替えのスケジュール
通学の負担軽減・安全対策
- 3面 新たな学校の配置イメージ
学校名を考えよう
- 4面 市内全域での
通学区域の変更

発行:町田市教育委員会 編集:学校教育部 新たな学校づくり推進課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 MACHIDA TEL:042-785-5471 ホームページ:http://www.city.machida.tokyo.jp

みんなで作ろう 新たな学校

子どもも大人も、ともに学び、ともに育つ
学び舎にするには？



1 新たな学校をつくるために 決めることは

現在、5地区で新たな学校づくり基本計画検討会を開催しています。
検討会では、たくさんの方と話をしています。

基本計画を 5地区でつくっています

教育委員会では、学校をこれからの子どもたちにとってより良い教育環境にしていくとともに、地域の方々が地域の施設としてより利用しやすい場所にする取り組みを進めています。

2021年5月に策定した「町田市新たな学校づくり推進計画」に基づき、新たな学校をどのようなものにしていくのかを、現在5地区の基本計画検討会で話し合っています。その他にも、施設の地域開放や運営、民間活力の導入、学童保育クラブ、放課後子ども教室、避難施設の機能等、学校統合や建替えに伴って必要な事項について話し合いを行って

います。これらを踏まえ、2022年度末には「新たな学校づくり基本計画」を各地区で策定する予定です。通学の負担軽減・安全対策や校歌・校章の作成等は、2023年度以降も引き続き検討していきます。

検討事項・検討のポイント		2022年度				
		4~11月	12月	1月	2月	3月
1 施設整備	敷地の使い方や教育活動のしやすさ、避難施設としての使いやすさなどを踏まえた施設配置	統合4地区	→	→	→	→
	南一小地区	→				
2 通学の負担軽減	通学区域の変更で、通学距離が延びる児童に対して路線バスなどによる通学や学区外通学制度等の負担軽減策	統合4地区	→	→	→	→
	南一小地区	→				
3 通学路の安全対策	新たに通学路として設定する可能性のある道路の現地確認や必要な安全対策	統合4地区	→	→	→	→
	南一小地区	→				
4 統合に伴う児童・生徒への配慮	他市事例等を参考に、子どもたちの事前交流などの実施	統合4地区	→			
5 校名の検討	学校名意見募集の結果を踏まえて、統合校の学校名候補案を選定(南一小地区は学校名変更の有無)	統合4地区	→	→	→	→
	南一小地区	→				
6 歴史の継承	各学校にある独自の教育活動や記念碑など、新たな学校に継承するものや方法	統合4地区	→	→	→	→
	南一小地区	→				
7 育てたい子ども像	夢や志をもち、自ら学び、自ら考えるなど、成長して欲しい子どもの姿	統合4地区	→	→	→	→
	南一小地区	→				
8 新たな学校における保護者組織	学校統合に伴う保護者組織の統合	統合4地区	→	→	→	→
9 新たな学校における地域協働活動	学校統合に伴う地域協働活動の統合	統合4地区	→	→	→	→
10 校歌・校章作成	新たな校歌・校章の作成時期や作成方法	統合4地区	→	→	→	→

保護者、地域住民、教員
みんなで
話し合っているのよ。



次のページからは、
みんなの知りたいことを
ピックアップ!



学校統合とともに建替えを行う本町田・南成瀬・鶴川東・鶴川西の4地区では10項目、単独建替えの南第一小学校地区では6項目について検討しています。

2 統合・建替えのスケジュール

いつ学校を統合するの？ いつ仮校舎へ引越すの？ いつから新校舎使えるの？
スケジュールの確認方法を紹介します。

統合・建替えスケジュールを確認しよう

統合や建替えに向けて具体的な検討を進めている5地区について、いつ統合するか、いつ仮校舎や新校舎に引越すのか、今後のスケジュールをご確認ください。これから検討を行う他の地区のスケジュールについても、二次元バーコードからご確認ください。

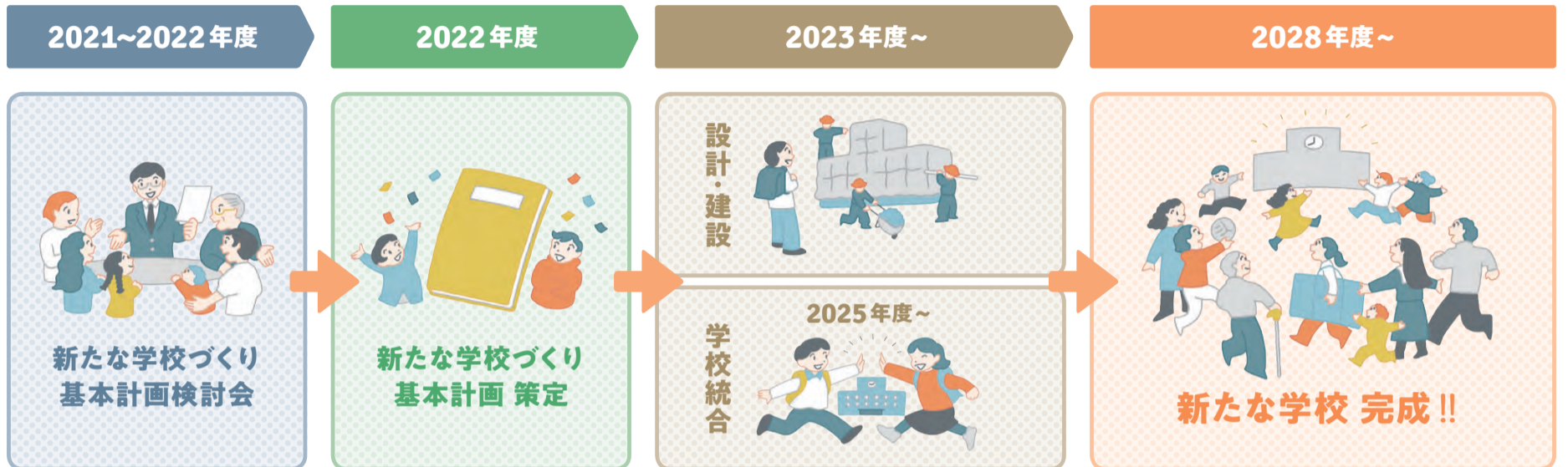
新校舎建設中は
どこの校舎を使用するの？

[小学校]

[中学校]

いつ学校を
統合するの？

「まちだ子育てサイト」
でご確認いただけます。



3 通学の負担軽減・安全対策

新しい通学区域で子どもたちが安心して通学するために何をすべきか、保護者や地域住民、教員と一緒に検討しています。

新しい学校でも、安全に通学できるように

新たな通学区域は現在よりも範囲が広がり、子どもたちの通学距離・通学時間が変わります。これまで実施したアンケートや意見交換会等では、児童・生徒の保護者から「通学距離・通学時間が長くなる

ことへどのような配慮があるのか（通学の負担軽減）」や「通学路の安全対策」について、多くの関心が寄せられました。

これらについて、「新たな学校づくり基本計画検討会」で検討してきた内容や、学区外通学制度をご紹介します。

友達が増えて楽しいね！
気をつけて
いってらっしゃい！



通学の負担軽減

子どもたちのために
2つの対策を検討しています。

対策 1 公共交通機関等
を利用した通学

安全・安心に公共交通機関等を利用することで、おおむね30分程度で通学できるようにする。

対策 2 学区外通学制度

指定校より近くに他の学校がある場合には、近い方の学校を選択できるようにする。



通学路の安全対策

基本計画検討会では6月から7月にかけて行った現地確認を踏まえ、子どもたちが新たに通学に使う可能性がある道路の安全対策について話し合いました。今後も関係者の方々と協力して通学路の安全対策を検討、実施していきます。



保護者、地域住民、教員と一緒に、子どもたちの通学時間帯に実施した通学路確認の様子。

現地確認で頂いた 主なご意見

- 歩道が狭い
- 信号待ちのスペースが狭い
- 車、自転車の交通量が多い
- カーブや坂の頂上で見通しが悪い
- 人目が少なく不審者が心配 など



町田市の通学時間、通学距離の基本的な考え方は国の考え方よりも厳しく設定しています。

「町田市新たな学校づくり推進計画」(①②とも小・中学校共通)

- ① 通学時間 おおむね30分程度を目安
- ② 通学距離 徒歩でおおむね2km程度を目安

国の考え方「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」P15~

- ① 通学時間 おおむね1時間以内を目安
- ② 通学距離 小学校でおおむね4km以内、中学校でおおむね6km以内を目安

4 新たな学校の配置イメージを見てみよう

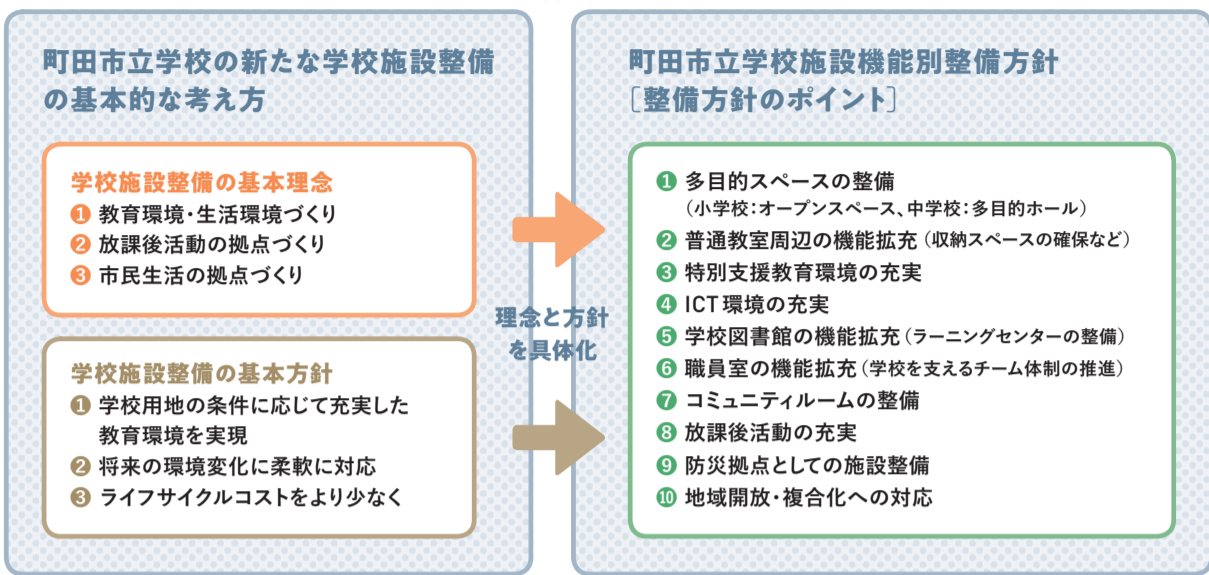
校庭や体育館、校舎の位置はどこになるのかな？
図面や模型を使って、新たな学校のカタチを検討しました。

基本的な考え方って何だろう？

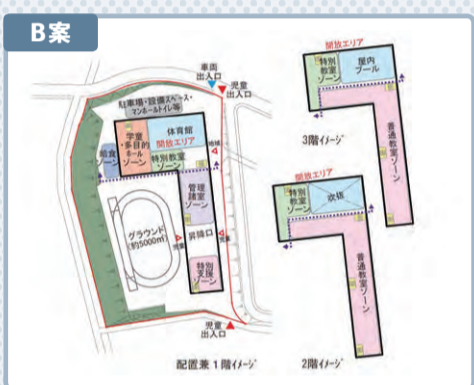
新たな学校施設整備の基本的な考え方

学校は子どもたちが多くの時間を過ごす大切な場所です。これから建替える学校が、地域や年代でバラバラにならないよう、「整備方針」で標準的な教室の数や面積、配置を定めています。

整備方針をもとに各地区の事情（敷地や建築条件）に合わせて、専門家に配置イメージを複数作成してもらい、検討会で、学校を整備するにあたって大事にしたいことなどを話し合いました。具体的な配置や各教室の位置は、2023年度以降の設計（具体的な設計図の作成）で決まります。



配置イメージから大事にしたいことを考えてみよう



各地区の検討内容は町田市HPでご確認いただけます。



委員からのご意見

- 車両の出入口と子どもたちの出入口が交差すると危ない
- 校庭は日当たりの良い南側が良い
- 職員室から校庭が見えると安全だと思う
- 教室から校庭が見える方が良い
- 学校が横に長いと端から端までの移動が大変そう
- 門と昇降口は距離があった方が良い
- 体育館と校庭は避難施設機能を考えると近い方が良い

5 新たな学校の名前を考えよう

名前は学校の象徴のひとつ。子ども達や地域住民の思いから、どのような学校名がいいか考えます。



私たちの学校がどんな名前になるか楽しみだね！

学校名募集と検討会での意見を見てみよう

卒業した学校の名前を思い出すと、校舎や授業、友達、教員、運動会や遠足、学校に通っていたときの記憶がよみがえりませんか。学校名は、通っている子どもだけではなく、保護者や卒業生、地域住民にも、ずっと使われる学校の大切な象徴のひとつだと考えています。

学校名を考えるにあたり、2022年5月から6月にかけて学校名募集を行いました。この結果を踏まえながら、検討会では学校名の候補を3案考えました。今後は、この募集結果と検討会における議論を踏まえ、最終的な学校名を教育委員会で決定していきます。

みんなから寄せられた4地区の新たな学校名(案)

<p>本町田地区</p> <p>[学校名の募集結果: 799件]</p> <p>ひなたやま／ほんまちだ／ひなた ほんまちだひがしだいさん／ほんまちだひなた ひなたむら／ほんまちだしぜん／ほんまちだだいさん</p> <p>[検討会の3案]</p> <p>本町田ひなた／ひなた／ひなたの丘</p>	<p>南成瀬地区</p> <p>[学校名の募集結果: 779件]</p> <p>なるせ／みなみだいに／みなみなるせ なるせさくら／みなみなるせだいに おんだがわ／さくら／かえで</p> <p>[検討会の3案]</p> <p>成瀬／成瀬さくら／成瀬桜</p>
<p>鶴川東地区</p> <p>[学校名の募集結果: 404件]</p> <p>つるかわだご／つるかわだいにさん／つるかわ つるかわしぜん／のうがや／つるかわだいに つるかわへいわだい／つるかわみどり</p> <p>[検討会の3案]</p> <p>鶴川東(ひらがな含む)／鶴川坂の上／鶴川みどり</p>	<p>鶴川西地区</p> <p>[学校名の募集結果: 272件]</p> <p>つるかわにし／しんこうじ／つるかわだいなな つるかわちゅうおう／つるかわ／つるかわなかよし つるかわだいに／つるかわさくら</p> <p>[検討会の3案]</p> <p>鶴川西／鶴川中央／鶴川鶴の台(ひらがな含む)</p>

学校名募集であったご意見

- 地域名がいい
- 言いやすく書きやすいのがいい
- かっこいい名前
- 元気で明るく仲良くすごせるような名前
- 好きな言葉
- 短くシンプルなものがいい
- 統合する学校名を組み合わせたい

検討会での主なご意見

- どちらかに吸収されるのではなく統合なので新しい学校名にしたい
- 旧校名を大切にしたいという想いを汲みとってほしい
- 地名を大切にしたい
- 子どもの意見を大切にしたい

6 市内全域での通学区域の変更

2040年度までに、学校統合を含めた新たな通学区域の実現を目指しています。

お住まいの住所から通う小・中学校を必ず確認してください

子どもたちの人間関係の形成や多様な考え方に触れながら学び合う機会を確保するためには、一定数以上の学級が必要です。町田市では、1学年あたりの望ましい学級数を、小学校が「3～4学級」、中学校が「4～6学級」としました。

この望ましい学級数の実現を目指し、小学校では

2025年度以降に、中学校では2027年度以降に順次通学区域を変更します。

通学区域が変わるタイミングは学校統合時や新校舎建設時だけではなく、お住まいの地区では学校統合や単独建替えの時期が遠くても、周辺の学校統合などの影響で通学区域が変わることがあります。

「まちだ子育てサイト」では、お住まいの住所で通学区域の変更を確認できます。必ず確認してください。

市内全域で、学校統合がある・なしに関わらず通学区域が変わります!!

お住まいの住所の通学区域は「まちだ子育てサイト」からご確認ください

検索方法

1. 右の二次元バーコードを読み取る
<https://kosodate-machida.tokyo.jp/mokuteki/7/nyuugaku/kuiki/index.html>
2. 「町田市 子育てサイト」で検索
トップページ/目的からさがす/小・中学校情報/通学・入学・転校/市立小・中学校の通学区域(学区)



統合しない学校も通学区域が変わります

学校の建替え等のタイミングで通学区域が変わることがあります。例えば、B小学校の新校舎使用開始のタイミングで、A学区の一部が、B学区に変わり、B学区の一部がC学区になります。

新しい校舎になるときに通学区域が変わることもあるよ。



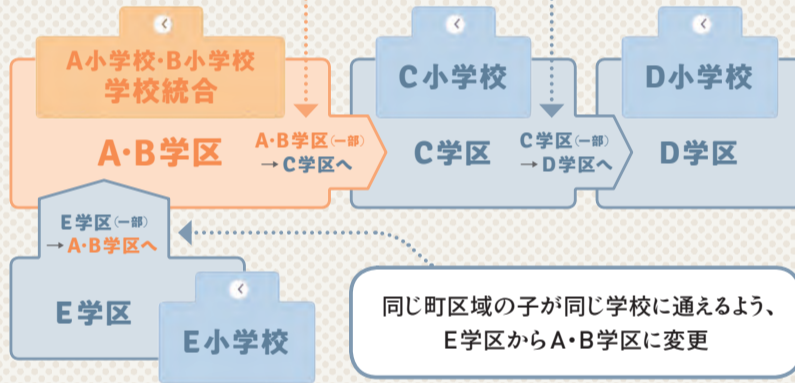
統合ではありませんが、学区の一部を変更

通学区域変更のタイミングに注意

お住まいの地区では学校統合や単独建替えの時期が遠くても、周辺の学校統合などの影響で通学区域が変わることがあります。例えば、A小学校とB小学校の統合時に、A・B学区の一部がC学区に変わります。そのタイミングで、C学区の一部が、D学区に変わります。また、E学区の一部がA・B学区になります。

A小とB小の統合のタイミングで、一部の学区を変更

A小とB小の統合と同時にC小の一部学区をD小に変更



同じ町区域の子が同じ学校に通えるよう、E学区からA・B学区に変更

中学校も通学区域が変わります

2023年度は、薬師中学校・金井中学校の統合と、小山田小学校・小山田南小学校の統合に向けて、保護者や地域住民を対象に、意見交換会を実施していきます。

中学校も薬師中学校・金井中学校の統合を皮切りに、通学区域の変更が始まります。小学校だけでなく、中学校の通学区域に変更がないか必ず確認してください。

パターンがいくつかあるんだね。どこの学校になるかな。



薬師中学校・金井中学校の学校統合に伴う通学区域の変更例

中学校名	2022年度 (現在の学区)	2027年度 (薬師中と金井中 想定統合年度)
薬師中学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 金井1丁目 ● 金井町 ● 野津田町 ● 藤の台1-3丁目 ● 本町田 ● 山崎町 ● 薬師台1-3丁目 	<ul style="list-style-type: none"> ● 金井1-8丁目 ● 金井ヶ丘1-5丁目 ● 薬師台1-3丁目 ● 野津田町 ● 金井町
金井中学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 金井2-8丁目 ● 金井ヶ丘1-5丁目 ● 玉川学園4-5丁目 ● 藤の台2丁目 ● 本町田 	<ul style="list-style-type: none"> ※薬師中学校と金井中学校の統合の影響で学区が変わる近隣の中学校です。 ▶ 町田第一中学校 ▶ 町田第三中学校 ▶ 南大谷中学校 ▶ 山崎中学校 ▶ 木曽中学校

通学区域を変更するときの基本的な考え方

通学区域については、原則として以下の考え方に沿って変更していきます。

- 望ましい学級数の実現
小学校:1学年あたり3～4学級
中学校:1学年あたり4～6学級
- 小学校と中学校区の整合
1つの小学校から複数の中学校にわかれなく
- 町区域と通学区域の整合
例:森野2丁目、本町田など
- 通学の許容範囲
通学時間おおむね30分程度
徒歩でおおむね2km程度

【お問合せ先】 町田市教育委員会学校教育部

- 学校統合に関すること 新たな学校づくり推進課 ☎042-785-5471
- 通学区域の変更・通学路の安全対策に関すること 学務課 ☎042-724-2176

まちだの新たな学校づくりに関するお知らせ (町田市ホームページ)

推進計画などの資料は、町田市HPにも掲載しています。右の二次元バーコードからアクセスすることができます。



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この広報誌は、204,500部作成し、1部あたりの単価は5円です。(職員人件費を含みます。)